

子育てサロン

「ほほえみ」

(下関市)



▲手書きの
ウェルカムボード

合言葉は「遠くの孫より地域の孫支援」。
おばあちゃんだからこそできる笑顔のサポート

下関市北部公民館、2階の子育てサロン会場に乳幼児連れのママたちが集まってきました。「いらっしやい。よう来たね」とにこやかに声をかけるのは「育児ボランティアほほえみ」の皆さん。「遠くに住む孫より地域の孫支援」をスローガンに活動しているグループです。代表の松原玲子さんが児童館勤務時代に相談を受けて双子や三つ子を抱える親たちを支援する会を立ち上げたのが始まり。約20人いる会員の平均年齢はオーバー70ながら、元幼稚園の先生や元民生委員、心理学を修めた人など多士済済の顔ぶれです。立ち上げ時から今のサロン、一時託児の運営などを、会員の協力はもとより、必要に応じて行政、社協などさまざまな関係機関に相談しながら展開しています。また5年前からは「祖父母の子育て支援研究会」もスタート。地元大学の先生の協力を仰ぎ、シニアのための子育て支援のノウハウについての勉強会を開いています。こうした幅広いネットワーク活用が会の活動をさらに充実させ、あるいは会員の安心感、負担感軽減にもつながっているようです。



▲代表の松原玲子さん

子育てサロンは月に2回。第1水曜は「くらし術サロン」と銘打って、「おばあちゃんならではの暮らしの知恵」を伝授。第3水曜は季節の行事を取り入れます。あとは毎回、点呼、歌や手遊び、ティータイム、絵本の読み聞かせといったプログラムをゆるやかな流れで進行。おばあちゃんたちにとってはエネルギーをもらう時間だそうで、「元気があるからやるんじゃないくて、やってるから元気なの」と笑顔満開です。

結成して15年。「メンバーの心意気がだいたい同じ方向を向いているから長続きするの。で、長く続けていきたいから無理をしない。メンバーに負担をかける大きなイベントはしないことにしてる。お互いのプライベートに立ち入り過ぎないことも大切」。さらりと長続きの秘訣を教えてくださいました。

「子育て支援っていいながら、活動が自分たちの癒しであり励みな。年相応に腰が痛かったりひざが悪かったりするけど、これからもできる間はやっていきたい」。こぼれる笑顔が何ともあたたかく魅力的な皆さんでした。



▲七夕飾りを作ろう

育児ボランティアほほえみの活動内容

●子育てサロン

☆開催日：第1・第3水曜日

第1水曜日：くらし術サロン

第3水曜日：くつろぎ広場

☆子育てサロン開催場所：下関市北部公民館

☆平均参加人数：30組 60名程度

☆担い手の参加人数：1回あたり約13名

(「ほほえみ」の会員20名と音楽担当のボランティアで運営)



●子育てサロン以外の活動

- ・市役所キッズスペースにおける一時託児（毎週月曜日）
- ・多胎児クラブ「ツインズファミリー」支援（月1回）
- ・祖父母の子育て支援研究会（月1回の勉強会、年1回フォーラム等の開催）

◆問い合わせ先 地域福祉部 地域福祉班

TEL(083)924-2828

FAX(083)924-2847